

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.8</b>	0.15	-	-			2.8
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	-	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>2.6</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-			
2 界壁遮音性能		2.0	0.40	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-			3.0
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 室温	Low-E複層ガラスの採用	3.0	0.38	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	-	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.7</b>	0.25	-	-			2.7
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 昼光率		3.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>2.0</b>	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		2.0	1.00	-	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>4.3</b>	0.25	-	-			4.3
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>5.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	F 建材を採用、かつ低VOC材料を採用	5.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.3</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮	各種給気口と排気口の離隔距離6m以上	4.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>4.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	喫煙室の設置(負圧管理)	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			3.5
<b>1 機能性</b>		<b>3.7</b>	0.40	-	-			3.7
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.6</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペース: 11.27㎡	4.0	0.33	-	-			
2 高度情報通信設備対応	OA機器用コンセント容量: 40VA/㎡以上	4.0	0.33	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.6</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース	喫煙コーナー + 自動販売機 + 休憩コーナー (4階)	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上げ(床タイルカーペット)、外装金属部はアルミ材の使用、高耐候性材料の採用(外壁吹き付け材)	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.4</b>	0.31	-	-			3.4
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>4.2</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	耐用年数65年(コンクリートFC=24n/mm <sup>2</sup> )	4.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	石目調吹付材: 30年	5.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	事務室7床: タイルカーペット(OA707-H100) 壁: グラス貼(PBt12.5)、天井: ロックウール化粧吸音板t9(PBt9.5)	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水: VLP、汚水・雑排水: VP	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔	ポンプ・空調・受変電設備	4.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具を過半以上採用 + 配管系統の区分を考慮	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備設置 + 電気設備の地下空間への設置無し	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.3	0.29	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			3.4	0.31	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.16	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	給水管・排水管は共に下階天井内	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	天井内の配線・配管はケーブルラックを採用、OA707を採用	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	同上	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑化及び、石目調外壁による良好な景観形式	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制		PAL値:251.7MJ/年・㎡、PAL低減率:16.1%	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	トブライトによる自然光の利用	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		LED照明の採用、ERR換算値=13%	3.8	0.30	-	-	3.8
集合住宅以外の評価( ERRによる評価)		ERR=13%	3.8		-	-	
集合住宅の評価					-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ + 省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	外構アスファルト部:再生密粒度アスファルト混合物、再生骨材の路盤材利用、床:タイルカーペット	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OA707+可動間仕切+移動間仕切、躯体+軽鉄+仕上材	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ビニルシート・タイル用接着剤、サッシ・ガラス用シーリング、塗剤床材	5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=94%、Low-E複層ガラスの採用	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場及び駐車場(管理用車両含む)の確保 出入口の分散による公道の渋滞緩和	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」の過半適合及び広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	